

2020年7月号をお届けします。この後記を執筆中の7月初旬には、大雨、猛暑など、いささか異常気象の梅雨となっています。新型コロナウイルス感染症も再燃を思わせる患者数の増加で、ウイルスとの知恵くらべといった様相です。早期のワクチンや薬の開発を世界中の人々が待ち望んでいます。

さて、本号の特集は「小児科専攻医必携 専門検査・治療実施マニュアル」です。小児科研修を始めた若い先生方をはじめ、ペテラン小児科医の先生方にも参考となる検査治療マニュアルです。「中心静脈路確保」では古い世代にとっては目新しいエコーガイド下での穿刺法などが述べられています。「気管切開」では、気管切開後の管理のコツや合併症も記載されています。「透析・血漿交換」では、それらの施行法などが詳しく述べられています。「体外循環による新生児急性血液浄化療法」では新生児に施行する血液透析や濾過の実際について述べられています。「吸収不全に対する人工呼吸療法」では、小児の人工呼吸全般について概説いただきました。「心臓カテーテル検査」では、その方法や解析について解説いただきました。「消化器内視鏡」では小児科医が担う役割について重点的に述べられています。「腎生検」では、その適応の決定の重要性が強調されています。「食物アレルギー診断のための食物経口負荷試験」では、食物アレルギー診断の実際について述べられています。

特集以外にも多くの総説が載っています。総説欄「概日リズムとアレルギー管理」では、免疫機構など

もサーカディアンリズムがあり、アレルギー症状の日内変動の原因になっており、それに合わせた治療が重要であると述べられています。診療欄では「アトピー性皮膚炎が良くなってからのコントロール」として、先を読んだ積極的治療すなわちプロアクティブ療法の有用性について解説いただきました。社会小児科学欄では「病児保育の現状と課題」として、病児保育の社会における意義と必要性、今後の課題についての解説が述べられています。「風疹第5期定期接種導入の背景と実施状況」では、ワクチン未接種世代の男性に対する接種の重要性と接種がいまだ低率であることが解説されています。トピックス欄では、リハビリテーションの継続が必要な小児の、専門病院から地域への移行の実態についての調査結果を報告いただきました。

症例報告では「早期のサーファクタント-TA 補充療法が奏効した急性呼吸窮迫症候群の1例」「肥満精査を契機として遺伝子解析にて確定診断した偽性副甲状腺機能低下症1aの1幼児例」「高度の閉塞性黄疸が輸液のみの経過で速やかに改善した遺伝性球形赤血球症の9歳男児」の報告です。

「最近の外国業績より」では日本医科大学小児科学教室から感染症に関する論文を紹介いただきました。

以上、非常に充実した、日常診療に役立つ内容になっていますので、ご一読下さいますようお願い致します。

(中西 敏雄)

編集：伊藤保彦・中西敏雄・岡部信彦・清水直樹・高橋孝雄（ABC順）

小児科

第61巻 第8号 7月号

2020年7月1日発行（毎月1回1日発行）

定価（本体2,700円＋税）

年間購読料金

定価（本体42,100円＋税）

〔年間13冊（増刊号、増大号を含む）の誌代〕

〔年間予約購読者に限り送料無料〕

※別冊は年間購読に含まれません※

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

Tel 03(3811)7165〔雑誌部直通〕

Tel 03(3811)7184〔営業部直通〕

Fax 03(3813)0288

<http://www.kanehara-shuppan.co.jp>

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社 Tel 03(3637)0005

広告申込先 福田商店 Tel 06(6941)5600

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、E-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。